

ジビニルベンゼン（DVB）のコンテナ輸送

こちらは、英文記事「[Carriage of Divinylbenzene \(DVB\) in containers](#)」(2019年1月14日付)の和訳です。



CINS はジビニルベンゼンのコンテナ輸送に関するガイドラインを発表しました。

DVB は、自己反応の一形態である重合反応を起こしやすく、ばら積みした場合、その反応によって熱と可燃性ガスを発生させるおそれがあります。したがって、DVB を積載したコンテナを輸送に適さない形で積み込むと、爆発・火災を起こす危険性があります。

DVB は過去何年にもわたり海上輸送されてきましたが、その間、重合反応による事故はほとんど起こっていませんでした。しかし、2006 年以降、より濃度の高い DVB（およそ 60% から 80% に増加）が、冷蔵コンテナに詰められたドラム缶ではなく、冷蔵機能のないタンクコンテナで輸送されるようになってきています。これにより、特に夏季に米国の温暖な地域から DVB が輸送された場合に、重合反応による事故が（そのほとんどが陸上で）多数発生しています。

海上での DVB 輸送に伴う重合反応に起因する事故に対応して、2018 年、国際海事機関(IMO)は、国際海上危険物規程(IMDG Code)の修正を行うことで、DVB などの重合物質の輸送方法に関する変更を承認しました。本変更は、IMDG Code の修正条項 39-18 に盛り込まれており、2020 年 1 月 1 日より適用が義務付けられますが、2019 年 1 月 1 日より自主的に適用することができます。

CINS（貨物事故通知システム）、国際 P&I グループ、および TT Club が共同で、ジビニルベンゼン (DVB) のコンテナ輸送のための共同ガイドラインを公表しました。

2020 年 1 月 1 日までの DVB のコンテナ輸送の安全性を確保するために、CINS（貨物事故通知システム）、国際 P&I グループ、および TT Club は、[DVB のコンテナ輸送のための一連の合同業界ガイドライン](#)を策定しました。この業界ガイドラインは、IMDG Code の修正条項が定める実施方法に焦点を当て、自主的なガイドラインに即した現時点での対応を促しています。

Gard は CINS のアドバイザーメンバーを務めており、幸いなことにメンバーの多くも CINS の会員です。その他のコンテナ船社のメンバーの皆さまも CINS に加入されることを推奨いたします。その目的は、特定の貨物や不適切な梱包によるリスクに対処してコンテナ船業界における安全性の向上を図ることにあります。

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。